

平成29年度 指定管理業務 評価票

服部緑地	【指定管理者】 服部緑地指定管理グループ	【指定期間】 平成25年4月1日 ～ 平成30年3月31日	【所管課】 池田土木事務所 都市みどり課
------	-------------------------	-------------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○服部緑地周辺の企業や団体の協力を得て「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」を年3回開催した。 ○年4回発行の広報誌「服部緑地パークライフ」では地域情報ははじめ、約100箇所にて各回10,000部配布した。 ○「服部緑地あすなろプロジェクト」では子供達に「食育体験をさせてあげたい」との意見を受け、開始したキッズファームプロジェクトを昨年に引き続き5回開催した。 ○「服部緑地みどり魅力化プロジェクト」にて土木事務所と協働で取り組んできた円形花壇の再整備について、黒田緑化事業団からの助成承認を取り、今年度中に改修。 ○ボランティア団体と協働で実施する環境学習や自然観察会などの講習会や「服部緑地ふれあい祭り」をはじめ、イベントの企画・運営を行った。 ○都市緑化植物園では、イベントや講習会を充実するとともに小学校などへ出張講習に出向くなど緑化に対する啓発に努めた。 ○また、子育て世代のお母さんたちに参加していただきやすいプログラムの充実を図った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」では、地域のネットワークの活用と組織力を生かし、宣伝効果の高い取り組みにつなげることができた。また、これを一つの成果と捉え今後の協議会の発展に臨む励みになった。 ○「服部緑地パークライフ」は、わかりやすいと好評をいただいた。 ○キッズファームでは、40名の募集に対し200名以上の応募があるほどの人気があり、参加した子供たちには食育の一つとして、農業体験を行い、食の大切さや自然の尊さを知ってもらった貴重な体験を提供することができた。 ○円形花壇を、服部緑地のシンボル空間として、さらに利用者ニーズに応えた魅力的な花壇とするための再整備実現に向けて、着実に前に進めることができた。 ○ふれあい祭りでは今年新たにボーイスカウト北摂地域の方々の参加や乗馬センターへ呼びかけたことにより、ポニーの乗馬やポニーとのふれあいコーナーで楽しんでいただけた。 ○出張講習によりまちのみどりづくりの促進に寄与することができた。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の取り組みを実施している。</p> <p>○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」の継続実施を通じて、「服部緑地パークライフ」の発行をし、わかりやすいと好評を受けた他、広報を拡充させることができている。また、キッズファームプロジェクトを一例として、他団体との連携による新規イベントの運営が、非常に高く評価でき、今後の更なる来園者の増加が期待できる。</p> <p>○利用者ニーズにこたえた魅力的な花壇とするために、円形花壇の再整備について、黒田緑化時事業団からの助成承認を受けるなど、着実に前に進めている。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>他団体との連携によるイベントの開催など、公園利用者のニーズに応えた管理運営を高い水準で適切に行っていることは高く評価できる。</p> <p>公園管理に外部からの助成金活用などの新しい取り組みも評価が高く、引き続きこの姿勢を継続することで、今後のさらなる利用促進が期待される。</p>
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大阪府都市公園条例」や「府営公園管理要領」などに基づき、公平な使用許可・行為許可・利用指導を行った。 ○スポーツ施設利用者に対し、オーパス利用の不正防止のため、現地での本人確認調査を実施するなど、「大阪府オーパス・スポーツ施設情報システム運営要綱」や「オーパス・スポーツ施設情報システム運用マニュアル」等に基づいた適正な運用を行った。 ○チラシ・ポスター・ホームページ・園内放送など様々な媒体を通して公園情報を誰もが平等に受け取れるよう発信した。情報の偏りや発信のタイミングに注視し、各媒体の発信日時の調整などを行い多くの方に分け隔てなく伝え、公平かつ平等に対応した。 ○様々な催しに対して、各主催者と綿密な打合せを行い、公平・平等な対応を行った。 ○管理事務所や植物園に常備する「車椅子」の無料貸し出しやサポートボランティアと協働した公園案内などを実施し、高齢者・障がい者の方々が喜んでいただけるサービスを提供した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一貫したルールの運用・案内を徹底することができた。 ○オーパス利用者の平等な対応を行うことができた。 ○適切なタイミングでの情報発信によって、より多くの人に情報を伝えることができ、喜んでいただけた。 ○マラソンなどイベントの開催内容を理解し、それぞれの主催者と綿密に協議を重ねることにより、平等に対応、適正な許認可の指導を行うことができた。 ○高齢者や障がい者をはじめ、誰もが平等に楽しんでいただけるサービスを提供できた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取り組みを実施している。</p> <p>○現地での本人確認を実施し、オーパスカードの不正使用防止に取り組んでいる。</p> <p>○多様な媒体を活用し、発信のタイミングなどを工夫した公園情報の発信を行い、より多くの公園利用者に利用しやすい情報の提供を目指して取り組んでいる。</p> <p>○サポートボランティアと協働した公園案内や高齢者や障がい者も利用しやすい公園づくりに取り組んでいる。</p>	A	<p>オーパスの不正利用防止の取り組みや、公園情報の発信についての適切な対応は評価できる。</p> <p>引き続き、実施可能な体験が記載されたバリアフリーマップの作成など、高齢者や障がい者等を含めて、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全日・全駐車場で利用可能な定期券(1ヵ月:264枚、3ヵ月:18枚、6ヵ月:39枚)を販売。 ○オーバス平日2時間以上予約の利用者に対し、駐車場料金420円を割引(約400件) ○車椅子の無料貸出(32件)。 ○ホームページ上でアンケートやご意見を受け付けお問合せの方に個別回答を実施、「ご意見・ご要望への対応広場」において、ご意見への対応を掲載。 ○陸上競技場で個人利用者へ器具貸出を実施し、音響設備では持ち込み機器から出力ができるよう機材設備を更新。個人利用者が増加していることから、利用料金徴収にレジを導入し、また利用者への迅速な情報提供のため、サイト内に個人利用空き情報を掲載。 ○平日の稼働率を上げるため、ミズノテニススクールイベント(練習会、団体戦)を開催。 ○グリーンサンド・クレールコートについて、利用頻度の高いコート为重点整備。 ○協議会を3回開催し、広報誌「服部緑地パークライフ」(四半期毎、11月末時点で計30,000部発行)の作成や「服部緑地5月祭・10月祭」(計14件、延べ19,938名)の開催、北大阪急行電鉄車内にてそれらイベントの中吊り広告掲載に協力頂いた。また阪急電鉄にてラッピング車の運行にご協力頂いた。毎月第1水曜日にFM千里の番組内で見頃の花やイベント情報等を植物園長が生放送で紹介。 ○地域協働を実践する「服部緑地あすなろプロジェクト」として「キッズファームプロジェクト」(5回、延べ332名)、「育みサロン」(計13回、延べ462名)、「みどりのギャラリー」(計5件展示)を実施。 ○新たな催しとして、服部緑地をスタート・ゴールとし、公園内のみならず豊中市及び吹田市の施設をチェックポイントとした「公園ロゲイニングin服部緑地」を7月2日に開催し、約200名の参加を得た。また、アウトドアブランドのTHE NORTH FACEと共催で11月18日「KIDS NATURE EDUCATION in 服部緑地」を開催し、自然遊びや火おこし体験を行うなど魅力的なプログラムに取り組んだ。 ○植物園へのさらなる利用者増加のため、JAFの割引制度を継続実施し、1,442名が来園した。(11月末時点) ○11月末時点迄の来園者数は 5,160千人(前年度比 94.9%) <p>○有料施設稼働率(11月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝 69.6% ・クレール 57.3% ・グリーンサンド 38.1% ・人工芝サッカー場 69.2% <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来園者が利用しやすい環境を整え、さらなる公園利用を促せた。またスタッフの受付・電話対応業務を軽減させ、より親切丁寧な受付対応が可能となった。 ○多様な手段で来園者の声を把握し管理に反映させるとともにホームページの活用により対応の“見える化”を実現できた。 ○テニスコートの不陸や水はけを改善でき、クレームも減少した。 ○服部緑地で行う取り組みについて、協議会やあすなろプロジェクトを通して、内容の充実や連携、広報協力を得られた。 ○JAF会員において割引サービスを行い、多数の方に季節ごとに表情が変わる植物園の良さを知っていただくことができた。 	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○駐車場定期券を発行し、駐車場利用の利便性向上・利用促進を通じたり、植物園におけるJAF割引制度を通じて、秋の週末の天候不順や台風21号の災害対応の中、前年度並の公園利用者数を確保した。</p> <p>○今年度より、ホームページ上でアンケートやご意見を受け付けお問合せの方に個別回答を実施し、公園の管理運営への利用者の声の反映並びに、利用者の理解の取り付けを行い易い環境をさらに整えた。</p> <p>○「服部緑地5月祭・10月祭」の開催やそれらイベントの北大阪急行電鉄社内での中吊り広告掲載協力、阪急電鉄でのラッピング車の運行の取り付けなど新たなイベントへの取り組み、広報展開を積極的に行った。</p> <p>○各団体・企業とコラボレーションをし、「公園ロゲイニングin服部緑地」「KIDS NATURE EDUCATION in 服部緑地」を行うなど魅力的なプログラム作りを行ったことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○料金徴収にレジを導入や施設改善や利用空き情報のホームページでの掲載などを行い、陸上競技場の利便性を高めた。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>各団体・企業と連携した魅力的なプログラムの実施など、利用者の利便性向上に取り組んでいることは高く評価でき、台風等の悪条件のある中で、前年度並みの利用者数を確保している点にも表れている。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況。(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <p>○トラブル発生時は直ちに巡視員と現場に急行し、苦情・相談についても真摯な態度での対応を心がけ、適切・迅速な初期対応を行った。また、対応方針をその日のうちに連絡する「1-DAYレスポンス」を徹底した。</p> <p>○夜間のトラブルや不適切な利用に対し、夏季の夜9時から翌朝5時にかけて、警備員による夜間巡視を実施し、警察の協力も得ながら、花火等による騒音やバイクの乗り入れ等について注意・指導を行った。</p> <p>○センチュリー交響楽団前の階段への塗料汚損被害については、豊中警察と連携し防犯カメラの設置場所に協力した。</p> <p>○野外音楽堂の公演時における音の苦情に対し、音量測定器を購入し、苦情のあったエリア付近の音量を計測し、苦情主への対応については、土木事務所と連携して対応した。</p> <p>○トラブルの発生から解決に至るまで、処置内容を「苦情等処理簿」に記録し、朝礼・スタッフミーティング等で従業員に周知徹底した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○適正な初期対応や警備の強化により、トラブル・苦情の拡大抑止、被害の再発抑止を図ることができた。</p> <p>○音の苦情に対し計測値を基に、苦情主に理解を得られる対応ができた。</p> <p>○トラブルの内容をスタッフ間で共有し、同様の事案を繰り返すことなく、管理の質を向上できた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○園内でのトラブル発生時には巡視員と無線連絡により迅速に現場対応した。対応方針は「1-DAYレスポンス」を徹底し、その日の内に連絡できるようにした。</p> <p>○警察と連携した夜間巡視や池の柵点検など対象を絞り込んだ重点的な巡視の実施などを行い、トラブルの未然防止に取り組んでいる。</p> <p>○苦情においては原因究明を深く行い、苦情主に対し、より理解を得られる対応を行った。</p>	A	<p>トラブル発生時の迅速な対応に加え、警察と連携した夜間巡視の実施などの実効性の高い取組みは評価できる。</p> <p>引き続き、トラブルの未然防止、適正な対応に努められたい。</p>
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>(草地管理)</p> <p>○利用頻度の多い場所について状況を見ながら刈り取り回数を増やし実施した。</p> <p>※実績例 BBQ広場(計画7回→実績11回、ちかくの森(計画3回→実績7回)、集いの原っぱ(計画3回→実績7回)、梅林(計画5回→実績7回)等。</p> <p>(芝生管理)</p> <p>○陸上競技場フィールド内に4年継続して散布した天然ミネラル肥料の効果で芝生の密度が上がりメリケントキンソウが縮小傾向にあるが、土木事務所と協議し、11月末と3月末~4月初旬に除草剤を使用してメリケントキンソウを一掃したあと、芝の密度や活性を上げるため高度化成肥料を散布予定。また、状況により天然ミネラル肥料を散布し、継続的な芝のランナーの育成を図る予定である。</p> <p>(樹木管理)</p> <p>○梅林は、過去の土壌調査の結果を踏まえ、使用肥料やバイオ製剤に拘り上根の保護と発育を促すように努めた。又「みどり魅力化プロジェクト」に於いて土木事務所と共に具体的な対応策の協議を進め、本年度一部実施できる方向になった。</p> <p>○昨年度使用した肥料効果の促進を狙った溶出調整型無機肥料に天然ミネラル肥料を混用しての施用、ならびに踏圧改善と根張りを助ける通気性の良い土壌への改善を狙った樹木用バイオ製剤の散布が効果的だったと推察できるため、本年度も引き続き6月に溶出調整型無機肥料・天然ミネラル肥料・バイオ製剤を散布し、その上から真砂土を5cm程度敷きならして保護する手法をとった。</p> <p>○また昨年度、寒肥として溶出調整型無機肥料と天然ミネラル肥料を混用して施用し、花付き・花色とも充実してきているので、本年度も引き続き12月に施用予定である。</p> <p>○「チップの道(木漏れ日の道)」の利用者が増え、来園者の要望もあり2月頃実施予定である。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○草地管理では、利用頻度の多い場所について除草回数増により安全で良好な利用環境を提供できた。</p> <p>○芝生管理では、危険なメリケントキンソウの根絶に除草剤の使用が可能となり、早期に解決が見込まれ、その後の対策と維持管理計画が立てやすく、利用者に安心して運動できる環境を提供できる。</p> <p>○樹木管理では、梅林に於いて、開花前から敷物を敷いての家族連れなどが蕾の下で寛ぐ姿が多くみられ、開花後には花の写真が撮れないほど多くの来園者を迎えることが出来た。足に優しい「チップの道」でウォーキングや散策をする人が多数見られ、健康を気遣う人に良い環境を提供できている事を実感する。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○利用頻度の多い草地での除草回数の増加を引き続き実施することで、利用者の利便性・快適性を高めている。</p> <p>○陸上競技場の芝生管理においてはメリケントキンソウの一掃に向けて取り組み、さらに芝の高密度化や活性化を図っている。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>メリケントキンソウの駆除対策等において成果が上がっていることなどが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園内清掃は、標準週2回の定期清掃を実施した。また、ゴミの散乱が酷い時には清掃員又は巡視員が集まって速やかに清掃した。 ○定期清掃では、一定のコースを定めず、臨機応変に清掃のコースを変更した。朝早くから利用の多いゴミステーションを巡回し、汚れ具合やゴミの溜まり具合から清掃の巡回コースを決定している。 ○ゴミ箱からあふれたゴミや散乱したゴミが複数あり、即座に全て片づけられない時はブルーシートをかけて、景観や悪臭に配慮すると共にカラスの被害を防いだ。 ○繁忙期は夜にバーベキューを行う来園者も多数いることから、夕方にゴミステーションの清掃を行い、気持ちよく利用して頂けるよう心がけた。 ○踏むと滑って危険なタイワンフウ等の木の実が散乱する箇所を把握し、木の実が溜まる前に随時清掃した。 ○便所清掃は、繁忙期週3回、その他の時期は週2回の定期清掃を実施、クモの巣やホコリの堆積に注意し清掃した。 ○夏期(7月~9月)には0-157対策の一環として便所消毒を実施した。 ○使用頻度の多く尿石の蓄積が多い便所から順に、尿石除去剤による重点清掃を行った。 ○清掃実施日、清掃実施担当者を記入するトイレチェックシートの作成、掲示を実施した(全23箇所)。 ○ポスターの掲示や園内放送によって、ゴミの持ち帰りの協力を呼びかけ、マナーアップの取り組みに努めた。 ○繁忙期には清掃回数を増加し必要に応じて臨時で仮設のゴミ箱を3箇所増設した。 ○台風や大雨等の気象情報に留意し、台風や大雨の前に、流出した土砂や折れ枝の除去・排水溝の詰まりの清掃等の対策を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用状況に応じて標準以上の園内清掃、ゴミ回収、便所清掃を行うだけでなく、臨機応変に効率よく清掃を行ったため園内を常に美しく快適な状態を保つことが出来た。 ○木の实等による転倒事故などなく、安全に園内の散策が出来る状態を保つことが出来た。 ○通常の便所清掃に加え尿石除去の重点清掃を行うことにより見た目も良くなり悪臭を防いだ。また、全トイレのチェックシート掲示により、目の行き届いた管理ができた。 ○マナーの啓発や仮設のゴミ箱の設置により、ゴミ箱から溢れるゴミが格段に減少し、カラス等による被害が減少した。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○標準の定期清掃の着実な実施に加え、繁忙期には清掃回数を増やし、園内の清潔・快適な環境維持に努めている。</p> <p>○台風など風水害発生時前に、折れ枝の除去や排水溝の詰まりの清掃等の対策を迅速に行い、来園者の安全確保に努めている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>利用状況に応じて清掃回数を増やしたり、台風や風水害発生時での利用者の安全確保に向けた取組みが継続されていることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○流水プールの橋に人工芝マットを敷き、暑さの軽減に努めた。 ○流水プールの経年劣化による底面亀裂の応急補修を実施した。 ○スライダー着水部分に追突防止マットを設置した。 ○スライダー出発地点にミストを設置し、利用者及び監視員スタッフ暑さの軽減に努めた。 ○刺青に関して今年度も腕、足用のラッシュガードの貸出を行い、声掛けを徹底した。 ○飲酒等のマナーに関するPOPを場内に掲示し、持込の方には丁寧に注意・指導を行った。 ○チケット売場に大きな料金表を掲示し、視認性の向上に努めた。 ○子どもも買いやすいように券売機前にお立ち台を設置した。 ○チケット購入の際に事前にお金を準備できるように、案内員を配置し購入列の待ち時間の軽減を図った。 ○北大阪急行電鉄(株)と連携し、中吊り広告を掲示した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スライダー着水地に追突防止マットを設置して安心感を提供、無事故につなげた。 ○スライダー着水部分に人員を配置して、安全を意識した素早い誘導を行うことで事故を未然に防いだ。 ○刺青対策では昨年度に引き続き、ラッシュガードの貸し出しを行い、腕や足の刺青を隠せるようになったことで対応件数は増加したが露出されている利用者は減少した。そのため、多くの利用者に安心してご利用いただけた。 ○プール内に飲酒のPOPを掲示しお客様への呼びかけを重点的に行なった。 ○大きな料金表を掲示したことで、チケットを購入しやすくなり、時短にもつながり、混雑の解消を図ることができた。 ○北大阪急行電鉄と連携して広告掲示を行ない、プールの利用促進に繋げた。 ○今年も夏期間中は暑さの軽減対策や熱中症の注意喚起を行ったことで大きな問題なく適正に運営できた。熱中症での緊急搬送昨年2件→今年2件。 ○流水プールでの擦過傷を未然に軽減できた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○きめ細かな刺青対策などに取り組み、チケット売り場事故の防止をはじめ、利用者の安全・安心を確保した運営ができていた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>チケット売り場でのPOP掲示など、各種リスクに対応した人員配置や安全対策により、利用者の安全・安心の確保に取り組んでいる点が評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技場では、ハードル等備品の修繕やトラックの劣化補修、電子機器関連等の配線の断線修理を施工し、安全・快適な利用環境の提供に努めた。 ○テニスコートのネット、フェンス等の修繕を迅速に行い、利用者の心地よい環境づくりに努めた。 ○テニスコートの転圧作業回数・時間を増加し、不陸の少ないより良いコートコンディションに努めた。 ○軟式野球場は日常管理・定期管理を適正に実施したほか場内のカイヅカイブキの剪定や危険木の伐採を行った。 ○人工芝サッカー場の劣化補修を行った。(芝生の補修等) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陸上の各修繕を迅速・適正に行い、公認記録を取るための大会の開催に向け万全な体制を整えた。 ○陸上トラックのゴム舗装部分の補修を行い、適正で安全な整備に努め高評価を得た。 ○テニスコートの、より良いコンディションづくりができ良く整備されているとのお褒めの言葉をいただいた。 ○安全に心掛けた整備を行い快適な施設を提供することができた。 ○利用者により良い利用ができる環境を整えた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○陸上競技場やテニスコート、軟式野球場、人工芝サッカー場の適切な整備を行い、利用者が安全・快適に利用できるコンディションを維持できている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>各種運動施設の修繕や整備などを適切に実施し、施設のコンディション維持に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>○「服部緑地みどり魅力化プロジェクト」にて土木事務所と協働で取り組んできた円形花壇の再整備について、黒田緑化事業団からの助成承認を取り、今年度中に改修。</p> <p>○円形花壇では、コスモスの見頃を10月初旬に設定しているが、昨年プラグ苗栽培を行ったところ20日遅れた為、3号ポット苗の栽培に変更した。</p> <p>○円形花壇管理では、メリケントキンソウやその他の雑草の駆逐と、芝生地景観の向上を目指し、芝刈頻度を標準年間10回のところ、15回以上に増やし管理した。</p> <p>○円形花壇のわくわく花壇において、ラベンダーの補植を行った。</p> <p>○都市緑化植物園に植わっているツバキ約1150本に対し、既存の名札167枚にプラス新たに品種名・管理番号を記した名札を、ツバキの開花時期に向けて329枚取りつけた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○プラグ苗栽培よりも予想開花時期の精度を高めることができ、想定していた10月初旬に満開をむかえ、来園者の方に喜んで頂くことができた。</p> <p>○メリケントキンソウの被害報告もなく、芝生地景観を年間を通じてより良好な状態に維持管理することができた。</p> <p>○老木化したラベンダーの更新を図ることにより、今後一層来園者に楽しんでいただける花壇管理ができた。</p> <p>○園内のツバキのうち、主に園路沿いで花が鑑賞できる500本に対して名札を取り付けたことになり、ツバキの魅力をより一層わかりやすく解説できるようになった。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○「みどり魅力化プロジェクト」を継続実施し、その取り組みにおいて、服部緑地の顔である特殊庭園の円形花壇の再整備について黒田緑化事業団からの助成承認を受け、日々の管理のみならず、中長期的な植栽計画の策定にも取り組んでいることは、非常に高く評価できる。</p> <p>○円形花壇においては芝刈頻度を年間10回から15回以上に増やした。コスモスは昨年度の開花状況を踏まえ、3号ポット苗の栽培に変更し、10月初旬に見頃となるようにした。またわくわく花壇において、ラベンダーの補植を行った</p> <p>○植物園では、ツバキの開花時期に向けて新たに名札を329枚取り付けた。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>都市緑化植物園における良好な維持管理、円形花壇における外部助成金による魅力向上の取組みなどが高く評価できる。</p> <p>今後も、専門的知識を活かし、更なる良好な維持管理が行われるとともに、更なる魅力づくりにも期待したい。</p>
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>○孟宗竹がほとんどであり、竹林にも変化や多様性を持たせるため真竹の植栽を行った。</p> <p>○来園者に山ヶ池の蓮を充分に楽しんで頂くために、蓮の開花時期に合わせて周囲の葦を5cmの高さで刈り込んだ。</p> <p>○養蜂を通じて子供たちに昆虫の生態と自然への影響を学んで頂くことを目的としたミツバチプロジェクトを実施するため、ミツバチを生育すると共にスズメバチの駆除を行った。</p> <p>○「大阪府生き物とふれあえる都市公園計画」の保全ゾーンである、竹林のいなり山では、ボランティアグループ「バンブークラブ」との協働により竹林の拡大防止等の目的にて竹林管理活動の実施を行った。竹林管理活動の一環として、「竹林管理体験会」を開催し、来園者の方々に竹林管について知って頂いた。</p> <p>○ボランティアグループと協働し、「自然観察・自然工作から始まる自然体験活動」等の子ども対象の自然環境学習イベントを行った。</p> <p>○子どもたちに、農の営みを通じ食物の大切さを伝えることを目的とした、食育教育・農業体験が行えるイベント「キッズファームプロジェクト」を行った。野菜の植え付けから収穫まで行い、約半年間で野菜を育てる一連の流れを体験した。また、収穫した野菜を食べることによって、食育体験・農業体験に関するニーズに応えた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○真竹の植栽を行うことで孟宗竹とは異なる趣のある景観が醸成出来つつある。また真竹はやわらかく色々な工作に使用でき、イベントにも活用し来園者へのサービス向上にもつなげられる。</p> <p>○山ヶ池の蓮は毎年楽しみにしておられる来園者の方も多く、景観を意識した管理により、非常に美しい景観を提供できた。</p> <p>○ミツバチプロジェクトは、サービスとして提供準備が整いつつある。</p> <p>○「大阪府生き物とふれあえる都市公園計画」の保全ゾーン、活用ゾーンの趣旨に沿った自然環境の維持創出や、昆虫観察などの自然環境学習を実施し、「生きものとふれあえる服部緑地基本計画」の実現に寄与した。</p> <p>○キッズファームプロジェクトでは、「苗を植え、成長を観察し、収穫して食べる」の作業体験を行い、植物の成長過程と毎日食べている身近な食物の大切さを学び、自然の大切さを伝えることができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○孟宗竹がほとんどであり、竹林にも変化や多様性を持たせるため真竹の植栽を行った。</p> <p>○山ヶ池の周囲の葦を蓮の開花時期に合わせて5cmの高さで刈り込み、観察できる環境を整えた。</p> <p>○ボランティアグループと協働し、子ども対象の自然環境学習イベントを実施した。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>マダケの植栽や山ヶ池のハス管理、ボランティアと連携した竹林管理などの、様々な取組みを通じて基本計画の実現に寄与したことが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。また、チョウの保全についてのPRなど、取組みに関する情報発信力の強化にも努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎日2人一組2班体制(4人)で巡視業務を徹底した他、GW等の繁忙期は増員し体制を強化した。 ○植物管理実務経験35年以上の、植物を熟知する専門職員を常駐することで樹勢の状態や倒木の可能性のある危険木の早期発見・対処を行った。 ○遊具は日常点検、定期点検(月1回)、繁忙期前の臨時点検を実施、精密点検は専門技術員(公園施設製品安全管理士など)により年1回実施し、その結果をもとに修繕を行った。 ○月一回の門扉点検を行うと共に、ネジの緩みや錆による動作不良等を解消した。 ○毎月1回、園内の保安灯を重点的に点検し、ランプの交換を行うなど、夜間における来園者の安全確保に努めた。 ○苦情が増える夏季は、夜9時から翌朝5時にかけて巡視警備員による夜間巡回を行い、園内の秩序を維持した。 ○プール開催時期や繁忙期等、駐車場入口に交通整理の十分な人数の警備員を配置した。 ○台風21号により約150本の倒木及び幹折れ枝折れ等の被害が生じたため、危険箇所については早急に立入禁止にして安全確保を行った上、撤去に努めた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巡視体制と巡視内容の徹底を図り、利用者が安全安心に利用できる環境を確保することが出来た。 ○危険木の早期発見と速やかな処置により、倒木や落木等の事故を未然に防ぐことが出来た。 ○遊具、門扉及びハートフルゲートの不具合箇所やその他の危険箇所や異常箇所に対する適切な対応により事故の未然防止することが出来ている。 ○保安灯の重点点検とランプ交換や安定器の交換により、来園者の安全確保が出来た。 ○夜間巡視警備の実施により、花火による騒音やバイクの乗り入れ等の夜間の迷惑行為、危険行為の抑止ができた。 ○駐車場の入口に警備員を配置したため、混雑による事故を未然に防止することが出来た。 ○台風により園内に非常に大きな被害が出たが、早急かつ的確な措置により二次災害となる怪我人を一人も出さなかった。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○苦情が増える夏季は、夜間巡視警備を実施し、危険行為や迷惑行為を抑止した。 ○遊具の不具合箇所の修繕を迅速に行うことなどにより、事故の未然防止に努めている。 ○台風21号による約150本もの倒木で非常に大きな被害の中、早急かつ的確な措置により二次災害となる怪我人を1人も出さなかった。また翌日早期復旧を行い、公園利用者の利便に供した。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 夏期の夜間警備による迷惑行為等の抑止に努めた点や、遊具の不具合箇所への迅速な対応による事故の未然防止に努めたことが評価できる。 また、台風対応の回復措置に関しても適切であった。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○非常時体制においては、交通機関の途絶時における職員への連絡体制の整備や、迅速な初期対応、情報伝達及び避難誘導など、施設や人的等の被害想定をもとに震災訓練を実施した。 ○9月7日の地震・津波対策訓練において、大阪府と連携し、訓練に参加した。 ○11月4日の近畿消防合同訓練において、ドクターヘリの離着陸訓練などが行われた際に大阪府及び豊中消防と連携し、消防訓練に参加した。 ○陸上競技場をはじめ、集客施設において消防訓練を実施した。 ○台風等の異常気象時においては、安全確保を行うため、非常時体制をとり、倒木や園路冠水など被害状況の把握と対策を行い、大阪府と連携し実施した。 ○停電時に防災設備を稼働させるための重要な機器である、発電機やチェーンソー、また人命救助の一助になるAEDの取り扱いなどの定期点検や経年劣化する部品の交換などのメンテナンスを欠かさず試験運転を行うなど災害に備えた。 ○朝礼時及び毎月の所内会議において、公園スタッフの危機意識の向上を図り、利用者の突然の事故などに対しても、迅速な処置が行えるよう努めた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○震災、風水害、火災やその他の災害に対し、訓練を着実に実施し、万が一に備えた知識や技術の習得、意識の向上を図ることができた。 ○10月22日に発生した台風21号の影響により、園内外で数多くの倒木があった。車両の通行がある外周園路でも倒木があったが、日ごろの訓練の成果もあり、速やかに倒木処理を行うことができ、交通渋滞を起こすことなく処理を完了することができた。 また、園内においても速やかな公園閉鎖処置により負傷者を出すことなく処理ができた。 ○災害対策用資材等の確保及び配分に係る体制など、非常時における各種機能確保も怠ることなく、多様な側面から危機管理体制を構築することができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の取組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通常対応である大雨・台風時の園内利用禁止措置はもちろんのこと、特に台風21号の際は、園内に150本もの倒木が多数発生したが、迅速な倒木撤去作業、啓開作業、府民からの様々な問い合わせに対し、適切に対応し、来園者の安全確保に努めたことは、非常に高く評価できる。 ○大阪府の防災訓練に参加・協力するとともに、独自に風水害や火災などに備えた訓練や研修を実施するなど、職員の危機管理意識と対応能力の向上に取り組んでいる。 	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 台風21号の際の迅速かつ適切な対応は高く評価できる。 また、災害発生を想定した職員の訓練や研修の実施、危機管理意識の向上に向けて取り組んでいることも評価できる。 引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊中南ロータリークラブより記念植樹される桜7本の候補地を選定した。 ○服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進協議会に参画し、「天竺のはらっぱ」の利活用に協力した。 ○「なにわなんでも大阪検定」の合格者に対しての特典として植物園の入園料金割引を行った。 ○行政の福祉化の取り組みとして、障がい者雇用の支援を行い、3名の知的障がい者の方を雇用するほか、専属の指導スタッフを配置した。 ○ボランティア団体に対し、広報や資材の提供、メンバー募集など支援した。 ○春と秋の植木市において、リサイクルチップの無料配布を実施した。 ○「男女いきいき・元気宣言」の申請を行い、登録事業者となった。 ○「大阪府障がい者サポートカンパニー」の申請を行い、優良企業として登録された。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の方々との協力により、服部緑地だけでなく地域としての魅力を増大させることができた。 ○「なにわなんでも大阪検定」合格者への特典割引により植物園への来場を促し、樹木や草花に親しめる上質な空間としての魅力を多くの方に知っていただくことができた。 ○清掃業務を通じ障がい者の就労を支援することができ、さらに安心・安全に働けるサポート体制を構築できた。 ○ボランティア会員数を増加できた。 ○間伐材のリサイクルとともに府民の園芸活動に役立つことができた。 	S	<p>実施計画書・公園管理要領などに定める内容を適切に実施し、かつ応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○府が参画する服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進協議会へ参画し、「天竺のはらっぱ」の有効活用に積極的に協力した。</p> <p>○「男女いきいき・元気宣言」の申請を行い、登録事業者となった。</p> <p>○「大阪府障がい者サポートカンパニー」の申請を行い、優良企業として登録された。</p>	A	<p>料金割引の試行や、各種イベント等への積極的な参加や障がい者雇用など、府の企画に積極的に参画・協力していることが評価できる。引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪府実施の利用者アンケート結果では、公園の満足度は「全体的な満足度」が1.5点であった。 ○植物管理の面においては「樹木は美しく手入れ出来ていますか」「草刈りはきれいに出来ていますか」「花壇はきれいに手入れできていますか」では、90%以上の方が「満足」又は「やや満足」との回答されており、それぞれ1.6点、1.4点、1.7点と高い評価を得た。 ○施設管理の面においては、「ゴミは少ないですか。掃除は行き届いていますか。」の項目では1.5点と高い評価を得た一方で、「便所は気持ちよく利用できますか。掃除は十分ですか。」の項目では0.6点と低い評価となっている。 ○サービスの面においては、「職員の対応は丁寧ですか」の項目では1.5点と高い評価を得た一方で、「売店などサービス施設は十分ですか。」の項目では0.3点と低い評価となっている。 ○「イベントの種類や数は十分ですか」や「ホームページやイベントの案内は充実していますか」の項目では、それぞれ1.1点、1.0点の評価を得た。 <p>【自己評価・業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○清掃スタッフと月1回のミーティングを行い、利用状況や汚れ度合に応じた清掃方法により実施する。 ○微生物の力により尿石が付着しにくいよう、バイオ資材を便器に試験的に設置することを検討する。 ○来園者が多く収益性が見込まれるイベント時など、ケータリングカーを出店したり、売店のない植物園において自販機を設置するなどを検討する。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○府が行った利用者満足度調査で公園の全体的な満足度および植物管理の面において、高い評価を得ることができた。その一方で「便所清掃」「売店などサービス施設」においては低い評価もあった。</p> <p>○「便所清掃」においては、尿石除去等を行う重点清掃や、微生物の力を利用し汚れにくくするバイオ資材等により改善し、満足度の向上につながるよう取り組む。また「売店などサービス施設」については、売店の販売品目の増加と品質向上、キッチンカーによる出店などを検討する。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、適切な維持管理が行われている。便所清掃等、公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○樹木がより美しくなるよう、景観を損ない危険を伴う枯枝落としを作業の合間に季節を問わず行った。また、来園者が行き交う主要な園路やスポーツ施設の近辺、要望のあった場所など見通しが良くなるよう順次剪定を行った。 ○土木事務所のアドバイスを受け、ヒマワリやコスモスなど季節の花が一斉に開花するよう調整した。 ○便所清掃の項目において、昨年度も評価が低かったことから、全ての便所に優先順位をつけて尿石除去を行う等、重点清掃を行っている他、従業員が定期的に各トイレの清掃確認を行いその結果を基に清掃委託者と毎月のミーティングを行った。 ○ホームページやイベントの案内を向上させるために、パークライフのデザインを一新した他、フェイスブックやツイッターの投稿頻度を上げたり、ホームページの更新頻度を上げた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○樹木管理に関して評価が昨年度の1.3点から今年度の1.6点に上昇し、元々高い評価であった樹木管理の項目を更に向上させることが出来た。 ○花壇管理に関しては、ヒマワリもコスモスも各季節に一斉に開花させることに成功し、更なる満足度の上昇につなげることが出来た。 ○便所清掃に関しては、順次重点清掃には既に取りかかっていたが、アンケートを行う時期までに実行した便所が少なく、アンケート結果に反映することが出来なかった。次年のアンケートでは満足度の向上が得られるよう取り組んでいる。 ○ホームページ・イベント案内に関しては、パークライフのデザインを一新し、文字を少なく写真や絵等を多くしたため、お子さんでも読みやすく非常にわかりやすい内容になったため、満足度の向上につながった。また、ホームページの更新頻度やツイッター・フェイスブックの投稿頻度を上げたことにより満足度が上昇した。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○樹木管理について、枯枝落としを作業の合間に季節を問わず行ったり、園者が行き交う主要な園路やスポーツ施設の近辺、要望のあった場所など見通しが良くなるよう順次剪定を行うことで、食物管理の質問項目において高評価を得ることができた。</p> <p>○イベント情報の提供についてもホームページのデザイン更新や更新頻度を上げ、またフェイスブックやツイッターの投稿頻度を上げるなど工夫を行った。</p>	A	前年度に低い評価を受けた事項に対して、適切な対応がなされていると評価できる。公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな催しとして、服部緑地をスタート・ゴールとし、公園内のみならず豊中市及び吹田市の施設をチェックポイントとした「公園ロゲイニングin服部緑地」を7月2日に開催し、約200名の参加を得た。 ○また、アウトドアブランドのTHE NORTH FACEと共催で11月18日「KIDS NATURE EDUCATION in 服部緑地」を開催し、8家族20名とともに自然遊びや火おこし体験を行った。 ○服部緑地の職員及びボランティア団体と連携し、地域の学校へ出向いて出張講座を実施したり、地域の中学生を職場体験で受け入れた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園ロゲイニングでは、多くのファミリーなどに楽しく参加していただけたことに加え、公園外の施設をチェックポイントとすることにより、地域のPR・活性化に繋がった。 ○また、アウトドアブランドとともに自然学習体験を楽しみながら実施し、外遊びの楽しさを広めることができた。 ○地域の教育機関との連携を深めることができた。 	S	<p>○前述しているが、新たな催しの取り組みとして、他団体と連携した「公園ロゲイニングin服部緑地」「KIDS NATURE EDUCATION in 服部緑地」を行った。</p>	A	公園ロゲイニングの取り組み等、幅広く利用者ニーズの把握に努め、管理運営に活かしている点が評価できる。引き続き、時代のニーズに対応したプログラム展開など、積極的な取り組みを期待する。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支出計画に沿った予算管理を執行し、支出超過等になることなく、概ね計画通りの執行に努めている。 ○老朽化等による施設に係る修繕においては、土木事務所と協議、調整を行い、役割分担の明確化を図った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経費削減に努めると共に、管理業務や利用者サービスを落とすことなく、良好な施設の提供やサービス向上、また、計画的な修繕を行い施設等の保全に努めることができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。</p> <p>○求められる管理水準を維持しながら、計画的な予算執行に努めている。</p>	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ○管理体制計画に則った管理体制を構築した。 ○「常時配置すべき職員の最低限のポスト数」及び応募時の提案以上の管理体制を整えた。 ○巡視業務においては、2名1班の2班体制を毎日実施し、来園者からの問い合わせ、不良箇所等の早期発見、危険物の放置処理などの業務を実施し、また、GWや繁忙期においては増員を行い、公園利用者の安全が確保され、安心して利用できるよう努めた。 ○夏期の夜間巡回においては、豊中警察の協力依頼を行うと共に、警備員を2名1組で、主要となる園内全域の巡回を行い、違法行為等の利用指導を行った。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ○一級(二級)造園施工管理技士7名を配置した。 ○一級(二級)造園技能士3名、公園管理運営士4名、樹木医1名、危険物取扱主任者乙種5名の技術者(有資格者)を配置した。 ○防火管理者を配置した。 保持すべき資格、保持することが望ましい資格を含め、求められる人員数を大幅に上回る技術者を配置した。 一級ボイラー技士及び電気主任技術者は、業務委託先事業者にて確保、配置した。 ○その他、安全基準法に基づく特別教育による資格について、小型車両系建設機械、高所作業車、チェーンソー、刈り払い機の有資格者を配置した。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○朝礼時及び毎月の所内会議において、安全意識の向上を図った。 ○KYTシートを使った安全ミーティングを5月17日に実施した。 ○屋外で作業する従業員に対し、安全靴、ヘルメットを貸与し作業をする際には必ず着用した。 ○作業で使用する機材、道具類について作業前の点検を徹底した。 ○2月16日、従業員が約1.2mの高さから落下し、骨折する事故が発生した。	B	当該年度の事業実施計画書に示した事項が一部実施できていない。あるいは、管理品質に一部課題がある。	B	労働災害が発生したことは、重く受け止めるべきであり、今後、事故防止に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ○経営状況に特に問題なし。	A	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。	A	構成団体の財政状態は良好である。

平成29年度 指定管理業務 評価票

二色の浜公園	【指定管理者】 二色の浜公園管理連合会	【指定期間】 平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	------------------------	----------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <p>① 水上オートバイ施設利用者に対し、安全啓発活動を実施し、海難事故は0件であった。</p> <p>② 日次、月次、遊具精密点検(年1回)を実施し、遊具の事故を防いだ。</p> <p>③ スポーツ施設の管理は、計画書とおりに実施</p> <p>④ 野外炉は、計画とおりに実施し利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>⑤ 浜屋顔の保護に努め、群生が拡大している。</p> <p>⑥ 水上オートバイ国家試験会場として活用し、国家試験実施回数年間15回実施。受験者166名</p> <p>【自己評価】</p> <p>府営公園管理要項や二色の浜公園管理マニュアルを十分理解し、公平かつ平等な公園利用の推進を図り、公園利用者の皆さんへの案内やサービスの向上を図り、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 二色の浜公園の特徴である海辺のレジャーに親しめる「海に親しめる公園」として、水上オートバイ利用者の安全航行はもとより、利便性の向上を目的として器材等の販売、走行中に発生した故障に対する船体整備や航行不能に陥った艇の曳航サービス等を原則実費ではありますが、利便性の向上を図りました。</p> <p>また水難事故を防ぐ為園内放送を実施しました。水上オートバイ利用者に対して、ライフジャケットの無料貸し出しを実施し、水難事故を防ぎました。</p> <p>② 遊具点検 各点検を実施し、遊具専門業者からの安全面に関する指摘項目を確実に是正し、また、巡視員による日常点検を実施することにより、遊具利用時の安全を確保しました。</p> <p>③ 運動施設 各種スポーツ施設において、利用者が快適にスポーツレクリエーションを楽しめるようメンテナンスを行いました。</p> <p>テニスコート内の清掃、整備 野球場のグラウンド整備(怪我を防ぐ為、小石の除去や外野の芝生整備)を実施しました。</p> <p>④ 野外炉 従来からの電話予約に加え、インターネット予約システムを導入後は、パソコンやスマートフォンからでも24時間予約できることにより利用者の利便性を高め、利用率の向上を図るとともに、使用後の清掃を徹底し、清潔で良好な維持管理に努めました。</p> <p>⑤ 海浜植物の群落の保護・養成 貴重な海浜植物群落の保護拡大に努めました。沢地区、海浜地区の浜屋顔群落を保護しました。</p> <p>⑥ 二色の浜公園海浜緑地水上オートバイ利用者の増加を図る為、「安全かつ適正な特殊小型船舶操縦士免許の講習会」を実施し、併せて国土交通省が実施する小型船舶操縦免許国家試験会場として活用しました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○水上オートバイ施設利用者の安全な機材の利用やマナー意識の啓発のための指導を行っている。</p> <p>○予約申し込みが輻輳する野外炉の予約をパソコンやスマートフォンからアクセスできるシステムを構築して、施設の稼働率と利用者の利便性の向上を図った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>水上オートバイ施設利用者向けのサービスや、野外炉のネット予約システムの構築など、利便性の向上を図った点などが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】 計画書とおりに実施しました。</p> <p>【自己評価】 府民の利用に際しては、府営公園管理要領を熟知し、平等な利用の推進、確保に努め、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 府営公園管理要領、公園管理マニュアル等を年度初めの繁忙期前に従業員が十分に理解できるように勉強会を実施し、公園利用者への案内やサービス向上を図り、公平、平等な利用促進に取り組みました。</p> <p>② 使用許可申請の平等な取り組み 受付担当者は申請時の内容を十分に熟読し受付業務や利用指導に際しては、府営公園管理要領等に基づき平等・公平かつ適正に行いました。</p> <p>③ スポーツ施設利用者からの「前回はよかった」や「車両進入の許可」などの要望を利用者の利用状況を見極めながら不公平にならぬ様に対応を心がけました。</p> <p>④ 公園最新情報の発信 当公園のホームページを有効に活用し広く情報を発信し「いつでも、だれもが」楽しく、利用できるような環境整備を行いました。</p> <p>⑤ ボランティア団体への協力 ボランティア団体の園内清掃ボランティアに対して清掃用具(火ばさみ、ゴミ袋、一輪車)の無償提供し、また園内にごみ収集場所を提供しました。</p> <p>⑥ オーバス利用については、担当職員がオーバス利用ルールを熟知し、利用者に対して利用時間等を説明し便宜を図ることのないように「公平・平等」利用に努めました。</p> <p>⑦ 利用者間のトラブル防止 だれもが快適に利用できるよう、ひとりひとりがルール・マナーを守り、他の利用者に迷惑が及ばないような公園創りを目指し、明るく、楽しい公園環境に努めました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○公園ホームページの内容を充実させ、誰もが利用しやすい公園であることのPRを行っている。</p>	A	<p>公園ホームページにおいて、誰もが利用しやすい公園として、PRしていることは評価できる。 引き続き、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)			
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <p>① スポーツ施設の早朝利用・タイム7を実施。 ② 水上オートバイ施設の水上の安全啓発に努めた。 ③ 有料バーベキュー施設のネット予約が定着した。 ④ 4月・5月GW期間、7月・8月の海水浴期間に臨時駐車場を開設し、公園利用者の利便性の向上に努めた。 ⑤ 二色の浜公園イベント実施状況 ・水間鉄道体験乗船会、海上安全教室 参加者 38人 8月26日実施 ・オータムフェス、マリンスポーツ体験乗船会 参加者 319人 10月1日実施 ・ウォーキングDay 12月10日実施予定 ⑥ 水上オートバイ関連のイベント ・全国・海外から多くの参加者が来園し二色の浜公園の知名度アップと利用促進活性化に貢献した。 ・全日本ジェットスポーツ選手権開幕戦 来園者数 6,032人 4月14日～4月16日実施 ・全日本ジェットスポーツ選手権最終戦 来園者数 6,612人 9月15日～17日 ・アクアボード選手権 来園者数 2,440人 9月23日～24日実施 ⑦ 環境学習イベント 近隣施設や学校と連携し、自然環境学習に協力しました。 ・親子釣り教室 雨天中止 ・稚魚の放流 6月10日実施。 ・二色の浜海岸 アマモ観察 7月9日実施。 ・さつまいも苗植え付け 5月22日 収穫 11月1日実施。地元園児20名参加 ・松のこも外し 平成30年3月上旬予定。 ⑧ 来園者数(平成29年4月～11月): 575,280人 (平成26年度 746,396人) (平成27年度 773,028人) (平成28年度 735,661人) ⑨ 稼働率(平成29年4月～11月平均): 有料バーベキュー施設稼働率27.0% (平成26年度 22.6%) (平成27年度 30.0%) (平成28年度 28.4%) ・稼働率(平成29年4月～11月平均): テニスコート稼働率 23% (平成26年度 26.0%) (平成27年度 23.6%) (平成28年度 24.0%) 平成29年度は、天候不良が続き特に10月は、週末に台風が接近し、来園者数が減り、利用料金収入減収の要因となった。</p> <p>【自己評価】 二色の浜公園を利用するすべての方が、安全・快適に利用できるように利便性向上を図る取り組みを積極的に行い、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 運動施設 ・スポーツ施設の利用時間は午前9時から午後5時までであり、多くの利用者への利用できるよう日没時間が遅くなる5月頃より利用時間帯の拡大を図りました。 ・早朝利用 午前7時から午前9時まで 5月中旬から8月中旬(毎日) ・夕刻利用 午後5時から午後7時まで 5月中旬から9月下旬 土、日、祝日 ② 水上オートバイ施設 ・利用者の安全確保が最重要と考え、安全の確保には不法改造や船舶検査の有無、操縦免許所持確認。監視員は海上安全指導員が常駐して安全で適正な利用の指導を行いました。 ③ 野外炉 ・インターネットでの予約システムを整備し利便性を高めるとともに、炭などの必需品も提供して利便性を図りました。 ④ 駐車場 ・繁忙期は常設駐車場では来園車両を収容できないため園内スポーツ広場などに臨時駐車場を開設し、幹線道路の渋滞防止と周辺道路への迷惑駐車防止を図りました。 ⑤ 公園施設の利用促進事業(イベント等の開催) ・マリンスポーツ体験乗船イベントやウォーキングイベントの開催。 ・公園施設の特性を生かした利用促進事業(イベント等の誘致) ⑥ 水上オートバイ競技の全日本大会等の開催。 ⑦ 公園施設の利用促進事業 自然学習型イベントへの協力。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○水上オートバイ関連イベントのほか、近隣施設や学校と協働で自然環境学習を開催するなど、様々な目的に対応した企画により利用者の増加と利便性の向上を図っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 水上オートバイ関連イベントなど、利用者の利便性向上を図る取組みを積極的に行い、利用者の増加にも繋げるなど適切に管理運営していることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)	<p>【実績】</p> <p>① 沢エリア 計画書とおりに実施し、収益事業の収益は、増加傾向にある。 【Dayキャンプエリア】 7月から実施。 【マリンスポーツ体験エリア】各種マリンスポーツ体験 平成29年7月から実施 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 4月から実施</p> <p>②海浜エリア 【Dayキャンプエリア】 平成30年4月から実施予定。 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 平成29年4月から実施 【カフェ】臨時売店、キッチンカーによる飲食の販売。 5月3日から7日、8月11日から16日のお盆期間に実施 【ドッグラン】 施設改善工事が必要な為、試験的に実施予定 11月末時点の収支 集計中</p> <p>【自己評価】 今年度から収益事業タイトル『アウトドアとマリンスポーツをつなぐ!』を実施しました。 特に沢エリアで、実施した次の収益事業は、開始直後にTV局の情報番組で放送されたため、好評となり施設の利用に繋がりました。</p> <p>① 沢エリア 【Dayキャンプエリア】 【マリンスポーツ体験エリア】各種マリンスポーツ体験 【レンタルBBQ】 器材のレンタル</p> <p>② 海浜エリアは、従来からの有料バーベキュー施設に加えて下記の収益事業を実施した。 【Dayキャンプエリア】 【レンタルBBQ】 器材のレンタル 【カフェ】 臨時売店、キッチンカーによる飲食の販売 【ドッグラン】 平成30年3月の実施予定。環境整備中</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○事業のPDCAを重ねることにより収益が増加していることから、着実な成果が上がっている。繁忙期に次々と来園者にとって目新しい事業を時期を外さずプロモーションすることにより、メディア取材や事業の情報発信により持続的な事業展開を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。メディアを利用したプロモーション展開により、来園者増につなげたことは、評価できる。</p> <p>引き続き工夫を凝らし、更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接客等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	<p>【実績】</p> <p>① 計画書とおりに実施 毎朝、従業員のミーティングを実施。 ② 計画書とおりに実施 公園管理スタッフのスマイル写真を掲示 ③ 毎年7月～8月の毎日警備員を2名配置し、来園者からの苦情や園内でのトラブルの防止に繋がった。 苦情件数 (平成26年度 447件) (平成27年度 325件) (平成28年度 183件) (平成29年11月末現在 24件)</p> <p>④ 夜間閉鎖実施期間 平成29年7月1日～9月3日 午後10時～翌朝午前5時 ⑤ 全従業員を対象とした講習会・研修会を実施した。 人権研修年12月16日実施・手話講習 平成30年2月17日実施予定 AED講習 平成30年2月実施予定・接客講習 平成30年3月実施予定 ⑥ 水上オートバイの利用者の事故件数は0件 ⑦ 二色の浜海水浴場に乗り入れる水上オートバイは0件 ⑧ さくら猫不妊活動を実施 平成29年度5匹。野良猫に関する苦情は減少傾向にある。(平成27年 21匹) (平成28年 7匹)</p> <p>【自己評価】 苦情やトラブルの未然防止に努め、次のとおり適正に業務を遂行することができました。</p> <p>① 時期によって予想される利用者からの苦情対応や注意方法の再確認を行うと共に、日々園内で発生した事に対する情報の共有を行いました。 ② 公園の「見える化」を実施し、利用者には安心感を、従業員には責任感を高めることが出来ました。 ③ 公園の防犯と安全性の確保のため、年間を通して、巡視を実施し、利用者の音響機器の持ち込みによる騒音トラブルの防止、飲酒による利用者間のトラブルの抑制出来ました。 また防犯カメラの設置による軽犯罪、悪戯行為の事前防止をすることができました。 ④ 近隣住民への花火等の騒音苦情防止をすることができました。 ⑤ 外部講師を招き講習会実施しました。 ⑥ 水上オートバイ利用者に対し、行政関係機関と船舶免許確認と船舶検査証の確認のパトロールを実施し、安全を確保しました。 ⑦ 水上オートバイ施設利用者に対しては、7月・8月の海水浴期間中の海水浴場乗り入れ禁止の指導を実施。 その結果、水上オートバイ施設利用者の乗り入れ水上オートバイは無く、水上交通の安全確保に寄与しました。 ⑧ 園内に生息する野良猫対策として、地域住民(餌やり)の方と協力し、猫の避妊手術を実施し、苦情が減少しました。</p>	S	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施しており、応募時の提案以上に成果を上げている。</p> <p>○海辺のレジャーに親しめる公園であるため、夏期繁忙期の海水浴やバーベキュー施設利用者による飲酒やマナーの問題により利用者間のトラブルが懸念されるが、警備員による巡視や職員の接客技術の向上などのトラブル未然防止に努め、苦情件数が大幅に削減(27年度:325件 28年度:183件 29年度:24件 11月末時点)し、利用者の安全確保に努めていることを非常に高く評価したい。</p>	S	<p>夏期の警備強化や、職員の接客技術の向上などによる苦情件数の大幅な減少は高く評価できる。</p> <p>引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> 計画書どおりに除草、樹木管理、花壇管理を実施し、特に重要公園施設である「松林」の適正な維持・管理を行いました。 ① 沢地区 黒松の薬剤散布 5月8日、6月16日(年2回)実施。脇浜・海浜地区の薬剤散布 6月5日(年1回)実施。 ② 松枯れによる伐採数 沢地区 3本・脇浜・海浜地区 57本 ③ 松枯れがこれ以上拡散しない処置として、沢地区の黒松に松枯れ防止樹幹注入剤を施工し、他の松への伝染を防ぐため早急に対策を実施。10月31日。 ④ 松のこも巻き 11月30日。 ⑤ 松林は、適宜に剪定を実施し、大規模な剪定作業は専門業者を招き年1回 閑散期である毎年1月に実施予定。 <p>【自己評価】</p> 管理要領以上に適宜実施し、次のとおり適正に業務を遂行することができました。 ① 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上の除草を行いました。 ② 繁忙期を前に、剪定作業、薬剤散布を実施し、来園者が快適・安全に利用できるよう管理を行った。 ③ 花壇管理については、年2回植栽し、季節感を演出しました。 ④ 二色の浜公園に隣接する住居に対しての越境剪定を実施して、迷惑のならないように配慮しています。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○主要植物のクロマツ等の松枯れ対策の早急な処置と薬剤注入による樹勢回復を図り、松林の景観保全に努めている。	A	事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。 主要植物であるクロマツ管理の取組みが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> ① 園内清掃 : 計画以上に実施し、園内の維持管理・美化に努めた。 ② トイレ清掃 : 計画以上に実施し、園内の維持管理に努めた。0-157対策を7月から9月に実施 ③ ボランティア清掃活動回数 18回実施 (火ばさみ、一輪車、ごみ袋の無償提供を実施) <p>【自己評価】</p> 次のとおり適正に業務を遂行することができました。 ① 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上を実施し公園の美化に努めました。 ② 平日の3日に加え、繁忙期の土日祝日を追加し、衛生管理に努めました。 ③ ボランティア活動に対する協力を積極的に行った。	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。 ○園内清掃やトイレ清掃の頻度を高めることにより利用環境の向上を図っているほか、ボランティアによる公園維持管理活動の拡大に向けた協力支援を行っている。	A	事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 なかでも、園内清掃・トイレ清掃に関して、繁忙期などの利用者数に応じた管理作業が評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <p>①~④ スポーツ施設 利用状況 (平成26年度 2,482件) (平成27年度 2,775件) (平成28年度 2,807件) (平成29年度 11月末 1,782件)</p> <p>⑤水上オートバイ利用台数 (平成26年度 2,493台) (平成27年度 2,474台) (平成28年度 2,386台) (平成29年度11月末 2,037台)</p> <p>水上オートバイ登録台数 (平成26年度 299台) (平成27年度 290台) (平成28年度 266台) (平成29年11月末 227台)</p> <p>【自己評価】 府営公園管理要領及び公園管理マニュアルより、規定回数以上の維持管理を実施し、いつでも良好な状態で使用できるように努めた。</p> <p>運動施設は、次のとおり維持管理を行った。 使用時間 午前9時~午後5時 季節によりタイム7・早朝利用を実施</p> <p>① 軟式野球場 利用者が安心して楽しめるグラウンド整備に努めた。 通常管理 週1回 点検・清掃・除草・散水・表面整正、排水施設清掃 管理A 月1回 部分掻き起こし、敷き均し、転圧、排水施設清掃 年間4回 苦汁散布、芝刈り12回/年 施肥3回</p> <p>② 球技広場 身近なスポーツ広場として楽しめるレベルの管理を実施 通常管理週1回 点検・清掃・除草・散水・表面整正、排水施設清掃 管理C月1回 部分掻き起こし、敷き均し、転圧、排水施設清掃 年間4回 苦汁散布、年1回、掻き起こし、敷き均し、転圧、仕上げ補修等</p> <p>③ テニスコート 誰もが安全に気軽にプレーできるコート管理 日常管理1回/2週 点検・清掃・除草・散水・表面整正 定期管理1回/月(年間12回)排水施設清掃、ネット点検、人工芝の点検</p> <p>④ スポーツ広場 多目的スポーツ広場として利用できる管理を実施 定期管理1回/日 点検、清掃、除草</p> <p>⑤ 水上オートバイ施設 海上安全指導員を配置し水難事故防止 通常管理1回/日 斜路施設の点検、安全ブイの確認等</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○運動施設の維持管理日報を作成し、施設の利用状態を常に良好に保持するための適切な管理を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 運動施設の維持管理日報の作成など、施設の利用状態を常に良好に保持するための適切な管理を行っていることは、評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>① 二色の浜海水浴場管理者と、水難事故発生時の連絡体制を確認した。 ② 潮干狩りや海水浴シーズンの関係車両の園内通行許可証の発行。 ③ 海水浴や潮干狩りに訪れる来園者の迷子や落し物、苦情等の連絡の連携を図るためにリトラブルの発生を防ぐように努めました。 ④ 二色の浜海岸の漂着ごみ(医療針、ガラス等)に関する情報を大阪府港湾局と連携し、海岸利用者へ安全対策を告知してまいりました。 ⑤ 府港湾局に協力し、海岸美化運動に参加して環境の維持に努めました。 ⑥ 二色の浜海水浴場にオイルフェンス設置の協力</p> <p>計画書とおりに実施し、平成29年度二色の浜公園内の水難事故は、0件でした。</p> <p>【自己評価】 大阪府港湾局、貝塚市と協力し、上記の実績のとおり適正に業務を遂行することができました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○海水浴や潮干狩り利用者への対応のほか、海岸利用の安全確保のための清掃活動やトラブル防止のための関係行政機関との連携を強化し、水難事故ゼロを達成している。</p>	A	<p>海岸利用者対応や清掃活動への協力を行うなど、適切に維持管理されていることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>① 稚魚放流 6月10日実施 アマモ調査 7月9日実施 ② さつま芋の植え付け5月22日実施、さつま芋掘り11月1日実施、松のこも外し平成30年3月実施予定 ③ 近木川ワンド活動は、活動実績なし。</p> <p>【自己評価】 自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みは、計画書どおりに実施することができました。 ① 海浜植物保存区域(3か所)の保護と維持及び拡大に努めるとともに、貝塚市自然遊学館を通じての学習の場としての提供を行いました。 ② 環境体験学習の実施(さつまいも生育体験・ヒラメ稚魚放流・松のこもはずし) ③ 近木川ワンドの活動に対して、毎年ライフジャケットの無償貸与を行いました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○季節の風物詩である「松のこもはずし」体験や貝塚市自然遊学館による環境教育の機会の提供を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 「松のこも外し体験」や近隣施設と連携した環境教育の機会の提供を行っていることが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <p>① 園内遊具の事故未然防止策 従業員による毎日点検、月次点検を実施。 遊具専門業者による定期点検を年1回実施し、遊具の事故防止に努めました。平成30年1月実施予定。 ② 水上オートバイ施設利用者の専門知識のある職員による施設利用登録実施しました。 水上オートバイ登録件数 11月末 227件 (平成28年度 266件) ③ 二色の浜公園区域内の砂浜・砂利浜の陥没調査の実施(年2回) 陥没調査を実施。陥没箇所なし。(二色の浜海岸 6月・10月) (海浜緑地4月・10月) ④ 巡視員2名1組で、毎日午前・午後の2回巡視を行い園内施設の瑕疵、危険箇所の発見、を行う。又月1回夜間巡視を行い園内の照明灯の点灯チェックを行いました。 ⑤ 日常巡視において瑕疵が発見された場合は早期に修理もしくは利用中止の処置を行いました。 ⑥ トイレ・手洗い場の消毒などの衛生管理を徹底し利用者への感染症防止の啓発。 0-157 対策 7月から9月に実施。 ⑦ 地元警察によるパトロールの要請、夏季の夜間閉鎖などを行い犯罪を未然に防ぐ対策を実施しました。 二色の浜公園沢地区 夜間閉鎖 7月1日から9月3日 ⑧ 園内放送を実施し来園者を危害から守る対策を図りました。</p> <p>【自己評価】 防犯対策は関係機関と連携して効果は高まっており事故を未然に防ぐ事ができ、計画どおり実施できました。 ・夏休み期間「貝塚市安全な町づくり推進協議会」に協力し、公園内の防犯活動を行いました。 ・二色の浜公園(沢地区)、海浜緑地に防犯カメラ設置し、その結果、犯罪、悪戯の抑止に成果が見られるようになりました。 ・来園者に危険を及ぼす補修・修繕については、早期発見に努め最優先に行いました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○園内巡視の頻度を高め、施設設備の不具合等の早期発見と必要な処置を行い、事故防止に努めている。</p> <p>○夏期繁忙期の地元警察によるパトロールや夜間閉鎖対応が犯罪への抑止力として効果を上げている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 園内巡視の頻度を高め、施設設備の不具合等の早期発見により事故防止に努めている点などが評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>① 「二色の浜公園非常時業務実施要領」にもとづき非常時訓練の実施及び実施要領の再確認を行いました。</p> <p>② 暴風波浪警報発生時の園内閉鎖実務に備えて配置要員、備品等の再確認を実施しました。</p> <p>二色の浜公園 平成29年度非常勤体制日数 4月17日 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 6月21日 大雨警報発令 8月 7日 台風5号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 9月17日 台風18号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 10月22日 台風21号 暴風波浪警報 園内閉鎖処置 10月29日 台風22号 大雨警報発令</p> <p>③ 6月19日 大阪府風水害伝達訓練に参加。</p> <p>④ 門扉開閉点検後 不具合異常なし。</p> <p>⑤ 大阪府水難救済会に加入済</p> <p>⑥ 備品等点検済</p> <p>⑦ 二色の浜公園海浜緑地でおこなわれる「3機関合同訓練」に参加し、水難事故が発生した場合の救難訓練及び連絡体制の確認を行い、周辺海域の安全確保に寄与しました。 実施日：6月19日 参加機関：岸和田海上保安署、貝塚市消防署、貝塚警察署、二色の浜公園管理連合会 水上オートバイ施設の担当職員は、海上安全指導員講習を受講予定。平成30年1月予定。 (海上安全指導員 資格者3名)</p> <p>【自己評価】</p> <p>平成29年は、計6回気象警報が発令されましたが、非常時出勤体制(3名)を配備し、定期的に園内巡回を実施することにより、倒木等や危険個所の早期発見に努め、大きな被害、来園者の怪我の確認作業を迅速に行い、安全対策を図りました。</p> <p>① 気象警報が発令された場合、津波注意報・警報が発令された場合の危機管理体制を確立 風水害はある程度の予想ができる災害であり「大阪防災ネットメール配信サービス」等を活用し情報を収集すると共に非常勤体制を配置</p> <p>② 特別警報、暴風警報、土砂災害警戒情報の発表があった場合、高潮警報又は津波警報、避難準備情報が発表された場合は公園の利用禁止又は制限をする。又解除する場合は大阪府と連携し行う。</p> <p>③ 大阪府と連携した情報伝達訓練に参加</p> <p>④ 園内閉鎖処置を行う時に備えて、点検(門扉の開閉状況等)を実施</p> <p>⑤ 大阪府が防災協定を締結した大阪府水難救済会に加入</p> <p>⑥ 災害がおきた場合に備えて必要な備品を常備いつでも使用できるよう点検する。</p> <p>⑦ 水難事故が発生した場合に備えて訓練を実施し、関係機関との連絡体制の確認</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行っている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>府の防災訓練への協力など、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ① 大阪府福祉部にホームレスに関する情報提供し、二色の浜公園現状を報告しました。 ② 大阪府ドクターヘリ運営事業にスポーツ広場を離発着場所として提供し、医療活動に協力しました。 利用実績0件 ③ 大阪府母子家庭等就業・自立支援センターからの雇用者1名、障がい者就業・生活支援センターからの雇用者3名は、勤続9年を経過している。また障がい者雇用率は、二色の浜公園管理連合会3社とも達成しています。C-STEP 加入済 ④ 府環境農林水産部環境管理室による二色の浜公園内での航空機騒音実態調査の園内車両乗り入れ等の協力。 ⑤ 潮干狩り前に実施する大阪府健康医療部食の安全推進課の貝毒検査の結果を園内放送、告知の協力。 ⑥ 飲酒運転防止策に協力し、注意喚起の園内放送を実施しています。 ⑦ 「なにわなんでも大阪検定」に継続して協力しています。 ⑧ 府治安対策課「こども110番月間」においての広報活動に協力 ⑨ 樹木、剪定枝をチップ化し、園内肥料として活用。 ⑩ エネルギー有効活用として、二色の浜公園外灯(9か所)をLED照明に変更済 ⑪ 平成27年4月より実施しているフロン機器の調査を継続実施し、定期的に点検、整備記録簿を作成しました。 ⑫ 防災フィールドキャラバンへの参加協力。(11月11日実施)</p> <p>【自己評価】 府との取り組みに積極的に協力し、適正に実施することができました。</p>	A	<p>管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実施した。</p> <p>○行政への協力や公益事業への取り組みのほか、外灯のLED化を推進してエネルギーの消費効率を高める取り組みも積極的であり、十分な成果を上げている。</p> <p>○また、就業支援事業や府民協働、環境問題についても本府の施策を理解し、計画どおりの実績が上がった。</p>	A	<p>就労支援事業、環境問題についても、府の施策へ積極的に協力し、適切な管理運営が行われている点は評価できる。 引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 ① 指定管理者による、年2回アンケートを実施した。 第1回アンケート 7月20日から31日 200名 第2回アンケート 10月1日から10日 200名 合計400名実施 ② 総合的評価全般的な満足度、「1.4」という結果であるが、平均を下回っている項目があり、更なる努力を重ねてまいります。 ③ 植物管理については、1.45点平均点であったが、草刈り、黒松の管理が1.4点であった。 ④ 施設管理については、1.25点と平均を下回っており、清掃と老朽化した施設の改善を図ってまいります。 ⑤ サービスについては、0.83点と平均を下回っており、売店・サービス施設は0.2点と低く今後の課題にしたいと思います。 イベントに関してのポイントが0.6ポイントが低くなっているため、内容を調査し改善を図ってまいります。ホームページやイベントの案内が、0.7点と低くなっているため、内容を調査し改善を図ってまいります。</p> <p>【自己評価】 ・老朽化が進んだ場所から、修繕費にて改善を図り、収益事業の収入を財源として幼児用おむつ交換台の設置を進める。 ・繁忙期は、清掃回数を増やして清潔なトイレを心がけ、巡視要員は、破損や汚れの点検も併せて行う。 ・収益事業の受付テントで、飲料水の販売を検討する。</p>	A	<p>全般的な満足度が「1.4」と水準以上の評価を得ている。各項目とも水準以上の評価であるが、アンケート結果から新たな課題と改善策を調査研究する姿勢を示している。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、適切な管理運営に努めている。 売店サービスなど、公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】 ホームページの更新回数を増やして、情報発信を積極的におこなった。</p> <p>【自己評価】 昨年度より、アンケート実施時期を夏の繁忙期と秋の行楽シーズンに行ったことにより、より実態に近いアンケート結果となった。 特にサービスに関してアンケート結果は、真摯に受け止め改善できることから実施してまいります。</p>	A	<p>公園ホームページの更新頻度を高め、積極的な公園PRを行った。 繁忙期にアンケートを実施したことにより、回答内容に偏りがなくより実態に近い数値を得られるとともに、様々な意見から気づきの改善策が確認できたことは、長期的な公園の魅力発信のための情報源となった。</p>	A	<p>前年度低い評価を受けた公園ホームページについて、更新頻度を高め、積極的な公園PRを行った点などが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言																														
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>① 4月16日まで設置し、地元住民から好評であった。</p> <p>② 大型炉の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 2016年</th> <th>H29 2017年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>3</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価】</p> <p>① 沢地区スポーツ広場前に桜提灯を設置。</p> <p>② 海浜緑地有料バーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、利用者増加に努めた。</p>		H28 2016年	H29 2017年	4月	5	5	5月	0	11	6月	4	15	7月	5	15	8月	3	16	9月	0	6	10月	1	5	11月	0	3		18	76		S	<p>○特に、指定管理者の独自予算で野外のバーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、雨天でも快適に施設を利用できるように取り組んだ。</p> <p>○その結果、大型炉の利用件数が前年度の18件から76件と大幅に増加しており、意欲的に事業の収益性を高める取り組みは非常に高く評価したい。</p>	S	指定管理者の独自予算で、野外のバーベキュー施設大型炉に屋根を設置し、雨天でも快適に施設を利用できるように取り組み、利用件数の大幅アップを達成した点などが高く評価できる。今後とも、積極的な取り組みを期待する。
	H28 2016年	H29 2017年																																			
4月	5	5																																			
5月	0	11																																			
6月	4	15																																			
7月	5	15																																			
8月	3	16																																			
9月	0	6																																			
10月	1	5																																			
11月	0	3																																			
	18	76																																			
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目																																					
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>天候不良により、利用料金収入が減収している。</p> <p>【自己評価】</p> <p>収入は、若干減収の予定。支出面においては、計画どおり予算執行できる見込みであります。</p>		A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。																														

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【二色の浜公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 職員を最低限以上のポスト数を配置し、大きな事故や苦情もなく公園運営を行いました。 【自己評価】 ① 計画どおりの管理体制を構築しました。また繁忙期は、当会の警備員を増員し安全管理に努めました。 ② 繁忙期には、貝塚シルバー人材センターの人員を増員し園内の清掃回数を増やし、衛生管理に努めました。 ③ 適正な公園管理を行うため、公園管理運営士を常勤(職員1名)にて配備	A	管理要領に定める管理事項及び提案した管理事項を適切に実行した。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ① 1級造園施工管理技士 宮原 聖 (株)寿楽園 ② 防火管理者(甲種) 岡田一博、藤井薫、田淵比早子 3名 公益財団法人マリンスポーツ財団 【自己評価】 ①② 常勤にて配置している。	A	必置義務者が適正に配置されていた。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 夏場の従業員熱中症対策として、適度な休憩と飲料水を準備して従業員の健康管理に努めた。資格のある作業は、有資格者がおこなっている。 また、公園利用者、従業員の安全確認の為 作業は複数名でおこなっている。 未資格者は、12月に資格講習受講 ・刈り払い機講習 受講者3名 12月19日実施 ・チェーンソー講習 受講者3名 12月7日・8日実施 【自己評価】 従業員への安全教育・訓練の実施及び体調管理に配慮しました。	A	安全衛生管理の計画と活動を体系的に実施し、怪我や健康被害が発生する恐れがある場所や作業における対応策もできていた。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 大阪府監査委員事務局の外部監査を受ける。 有限責任あずさ監査法人が、監査を実施した。(11月16日~17日実施) 【自己評価】 ① 経営状況に大きな変化はなく、指定管理業務の収支も予定どおり。 ② 全体的に連合会(構成団体)として、財務状況は概ね良好である。	A	法人全体の経営状況に大きな変化はなく、財務諸表から安定した指定管理業務ができています。	A	財政状態はおおむね良好であるが、経常収益に増減が大きい構成団体がある。